

編集 後記

皆さまのご協力によって「西九州リハビリテーション研究 vol. 15」を発刊することができました。今年度は、原著論文5編、報告2編、そして掲載推薦卒業論文2編の合計9編が掲載されています。臨床や地域でのリハビリテーションの一助になれば幸いです。

論文を執筆することは大変な作業です。チャールズ・ダーウィンが「自然科学者が自然を観察するだけでよく、論文を書く必要が無ければ彼の人生は実に幸せだろう」と言ったことが書籍に書かれてあるくらいです。しかし、どんなに素晴らしい思考・研究であっても論文という形にしないと議論することはできません。私は、恩師より「いかなる思考も、分析結果も、書かなければ残りませんよ」と言われた言葉をいつも思い出します。論文の執筆は大変な仕事ですが、リハビリテーションの発展には必要なことだと考えています。

西九州リハビリテーション研究は、学外の方からも原稿を受け付けております。ぜひ、来年度も皆さまからの投稿をお待ちしております。

(釜崎大志郎)